

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 沼津市立第一小学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ Ⅲ ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	<p>【その1】 5, 6年生児童 88名</p> <p>【その2】 2, 4年生児童 79名 特別支援学級 3名</p> <p>【その3】 5, 6年生児童 88名</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動<small>次の5つの中から選択しOをつけてください【複数選択可】</small></p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間、生活科)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>【その1】 東京オリンピックにむけ、沼津市で事前合宿中だったフェンシング女子フルーレの代表メンバーとオンラインで交流することを通し、オリンピックの意義を確認し、目標に向かって頑張っている人を心から励ましたり、応援したりできるようになる。</p> <p>【その2】 元車いす陸上選手「永尾嘉章」氏をお招きし、2・4年生及び特別支援学級児童を対象とした講演及び実技指導等を通し、障害について理解を深め、「効ある人」をより意識して生活できるようになる。</p> <p>【その3】 フェンシング男子サーブルの元オリンピック「長良将司」氏をお招きし、5・6年生を対象とした講演及び実技指導等を通して、スポーツを楽しむ心を育むとともに、将来の夢や希望を抱く大切さを実感する。</p>

5 取組内容

【その1】

7月8日（木） 5校時

各教室で、「フェンシング フルーツ日本代表『東京 2020 大会』沼津市壮行会」へのオンライン参加。

↓教室の大型テレビでの壮行会を視聴



↓教室からオンラインで代表選手に質問



↓教室からオンラインで、市長と共に代表選手にエールを送る



【その2】

11月9日（火） 3, 4校時

体育館で、元車いす陸上の選手「永尾嘉章」さんによる、講話
と実技指導

↓体育館で永尾さんの講話を聞く



↓陸上競技用の車いすに試乗体験



↓競技用の車いすに乗って、チームで競争



【その3】

1月18日（火） 2～4校時

体育館で、フェンシング元オリンピック「長良将司」さんによる、講話と実技指導

↓体育館で長良さんの講話を聞く



↓「スマートフェンシング」を体験



↓本校HPの記事

「夢」講座 スマートフェンシング体験会

沼津市役所ウィズスポーツ課の職員の方に本校いただき、5年生、6年生を対象に、「夢」講座を行いました。中でも、「夢」の設定は高く持つこと、より具体的な「目標」を持つことの大切さをおぼしめいただき、これからの生活の中で目標を大きく掲げ夢に向かっていくことができそうです。

スマートフェンシング体験では、用具を借用する優遇券をしていただくなど、感染症対策を取りながら実施していただきました。夢中になって取り組んでいる様子が見られました。

画像は、6年生が講座を聴いている様子と5年生のスマートフェンシング体験の様子です。



6 主な成果

一昨年度、ボッチャや車いすバスケットボールの代表選手との交流を通し、障害やパラリンピックについて学習した。昨年度は、ブラインドマラソン選手のガイドランナーである堀内さんと、パラ陸上の村上選手の講話や実技を通し、障害やパラリンピックへの理解を深めていた。本年度は、沼津市のフェンシングをサポートする施策と、「あすチャレ！スクール」の活用により、オリンピックとパラリンピック両方への興味関心を高められた。

【その1】

前半は、壮行会のプログラムに沿った「市長からの激励」や、監督、選手からの決意等を、児童たちは真剣に聞いていた。後半、高校生からのプレゼントに続き、本校代表児童からの質問の時間では、質問の受け答えに喜んでいて、オンライン終了後には、選手達を応援しようという気持ちが高まっていた。

<児童の感想>

- ・フェンシングのことや、選手の思いなどがいろいろ聞いてよかった。オリンピックに出られる選手や、選手を支える人たちはすごいと思った。(5年女子)
- ・フェンシングにちょっとしか興味がなかったけれど、選手や監督の話を聞いて、興味を持てた。代表選手の決意を知って、僕も応戦したいと思った。(5年男子)

【その2】

約90名の児童が、体育館で永尾選手の話の聞いたり、質問をしたりした。体が不自由になる事故から始まったこれまでの道のりや、競技用車いすを巧みに操る姿など、永尾選手の前向きな生き方を児童は十分に理解していた。

<児童の感想>

- ・車いすに乗ったとき、思ったよりうまく進めなくてびっくりした。永尾さんは、車いすに乗って時速40km以上で走れるなんて、すごいと思った。がんばるって大切だと思った。(4年男子)
- ・わたしは、たまにむりだと思うとあきらめてしまうけれど、わたしも永尾さんのようにあきらめず、大きな夢を持ちたいと思います。(4年女子)

【その3】

5、6年生の児童が、体育館でそれぞれ、長良さんの話を聞いたり、質問をしたりした。前半は、オリンピックに出られるまでの道のりや苦労等を聞き、目標を達成するまで努力し続ける凄さを、児童は十分に理解していた。後半は、スマートフェンシングの体験を通し、フェンシングのルールを理解したり、プレーする楽しさを味わったりしていた。

<児童の感想>

- ・長良さんが「オリンピックに出場することを目標にしたので、メダルに手が届かなかった。メダルを獲ることを目標にすればよかった。」という話を聞いて、目標を高く持つ大切さが伝わ

沼津朝日新聞
2021年(令和3年)12月2日(木曜日)

「あすチャレ」の授業が紹介されました

本人様と異なる大舞台を体験し、目が覚め、心も動き、体も動く。2021年12月2日、沼津朝日新聞に掲載された「あすチャレ」の授業の様子が、沼津朝日新聞に掲載されました。

「あすチャレ」は、沼津朝日新聞が主催する、小学生を対象とした、社会福祉の授業です。今年度は、沼津朝日新聞が主催する「あすチャレ」の授業が、沼津朝日新聞に掲載されました。

沼津朝日新聞が主催する「あすチャレ」の授業は、沼津朝日新聞が主催する、小学生を対象とした、社会福祉の授業です。今年度は、沼津朝日新聞が主催する「あすチャレ」の授業が、沼津朝日新聞に掲載されました。

沼津朝日新聞が主催する「あすチャレ」の授業は、沼津朝日新聞が主催する、小学生を対象とした、社会福祉の授業です。今年度は、沼津朝日新聞が主催する「あすチャレ」の授業が、沼津朝日新聞に掲載されました。

静岡新聞
令和4年(2022年)1月22日(土曜日)

「目標」の大切さ訴え 伊豆・東部

沼津市立第一小は、長良さんとフェンシングの授業を受けた。長良さんは、フェンシングの授業を受けた。長良さんは、フェンシングの授業を受けた。

沼津市立第一小は、長良さんとフェンシングの授業を受けた。長良さんは、フェンシングの授業を受けた。長良さんは、フェンシングの授業を受けた。

沼津市立第一小は、長良さんとフェンシングの授業を受けた。長良さんは、フェンシングの授業を受けた。長良さんは、フェンシングの授業を受けた。

沼津市立第一小は、長良さんとフェンシングの授業を受けた。長良さんは、フェンシングの授業を受けた。長良さんは、フェンシングの授業を受けた。

8主な課題等

6月からのコロナ禍の影響を受け、1, 3年生に体験をともなう学習を提供できなかった。昨年度の経験を生かし、GIGAスクール構想によるオンライン学習を何度か考えたが、他の行事との折り合いがつかず、実施できなかった。

市のフェンシングに関する施策に関し、市の職員と電話やメール等で何度も連絡を交わしたが、お互いの時間と都合が合わず、コミュニケーションをとる時間と機会の確保が難しかった。

9来年度以降の実施予定

来年度以降、「あすチャレ！スクール」を4年生の総合的な学習の時間で継続することを決めている。4年生の総合的な学習の軸である福祉の内容に組み合わせ、インクルーシブ教育の要として、本事業を継続していきたい。